

授 業 科目名	【 G 】	国際法Ⅰ	区 分		開講年次	【 G 】 3	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	国際法Ⅰ	選 択			【 H 】 3		【 H 】 2
科目区分	専門科目：【 G・H 】教科及び教科の指導法に関する科目（－・－・公民・－）							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独	【 G 】 教員の免許状取得のための（－・－・公民必修・－）科目						
		【 H 】 教員の免許状取得のための（－・－・公民必修・－）科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等		教科に関する専門的事項：「法律学（国際法を含む）、政治学（国際政治を含む）」（高一種免公民）						
サブ タイトル	国際社会を規律する方の基礎を学ぶ					担当者	山下 毅	
授業概要	【概要】	国際法の基本的な概念および総論的な知識・問題を説明する授業です。 国際法が、日常生活やマスメディアなどを通じて目にする国際社会の諸問題を理解するための1つの有効な眼となることを皆さんに提示します。						
	【到達目標】	・国際法の基礎的な知識や考え方を身につける。 ・国際社会の動向に関心を持ち、国際法上の問題について課題を発見することができる。						
履修条件	・国際社会で生じている事象を理解する上で重要となる基礎的な知識・概念を理解できる。 ・国際社会で生じている問題について、自分なりに関心を抱き、批判的に検討することができる。							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP（ディプロマ・ポリシー）①		◎ （よく当てはまる）					
	DP（ディプロマ・ポリシー）②		－ （当てはまらない）					
	DP（ディプロマ・ポリシー）③		－ （当てはまらない）					
	DP（ディプロマ・ポリシー）④		○ （やや当てはまる）					
他科目との 関連性	関連性「国際法Ⅱ」を共に履修することを強く勧めます。							
教科書	加藤信行・植木俊哉・森川幸一・真山全・酒井啓亘・立松美也子『ビジュアルテキスト国際法(第三版)』（有斐閣、2022年）							
参考書	植木俊哉・中谷和弘『国際条約集 2025年版』（有斐閣）							
評価方法	・定期試験（まとめノートの持ち込み可）。まとめノートに関する説明は授業中に行う・・・（50%） ・毎授業後、オンラインフォームを用いて小テストを実施する（毎回5問）・・・（50%）							
フィードバック 方法	・質問は講義後に対応します。また、メールでも随時受け付け、可能な限り速やかに回答します。 ・定期試験については、模範的な解答例を表示します。							
評価基準	定期試験および授業後の小テストの成績から、講義内容を理解していることを示したと認められる場合には「A」（うち特に優れたものには「S」）、理解や表現等に不足があるものはその程度に応じて「B」または「C」、講義内容の理解が著しく劣るものはその程度に応じて「D」または「E」（ともに不合格）とします。）							

授 業 科目名	【 G 】 国際法 I	区 分	開講年次	【 G 】 3	単位数	【 G 】 2
	【 H 】 国際法 I	選 択		【 H 】 3		【 H 】 2
授業回数	授業内容					
1	オリエンテーション:人々は国際法を学ぶことで何ができるか					
	予 習： 教科書「Introduction」の読解／疑問点の洗い出し			復 習： まとめノートづくりによる授業の振り返り／小テストによる理解度の確認(90分)		
2	国際社会・国際法の基本構造/国内社会・国内法との違い					
	予 習： 教科書「第1章」の読解／疑問点の洗い出し			復 習： まとめノートづくりによる授業の振り返り／小テストによる理解度の確認(90分)		
3	国際法の歴史:国際法はどのような歴史を経て現在の姿になったのか					
	予 習： 教科書「第1章」の読解／疑問点の洗い出し			復 習： まとめノートづくりによる授業の振り返り／小テストによる理解度の確認(90分)		
4	国際法の法源:国際法とはどのような姿で存在するのか					
	予 習： 教科書「第1章、第2章」の読解／疑問点の洗い出し			復 習： まとめノートづくりによる授業の振り返り／小テストによる理解度の確認(90分)		
5	国際法の効果①(国際法同士の効力関係/国際法と国内法の効力関係)					
	予 習： 教科書「第2章」の読解／疑問点の洗い出し			復 習： まとめノートづくりによる授業の振り返り／小テストによる理解度の確認(90分)		
6	国際法の効果②(国際法違反により生じる効果)					
	予 習： 教科書「第2章」の読解／疑問点の洗い出し			復 習： まとめノートづくりによる授業の振り返り／小テストによる理解度の確認(90分)		
7	国際法主体①(国際法の権利義務を主に引き受ける国家とはどのような存在か)					
	予 習： 教科書「第3章」の読解／疑問点の洗い出し			復 習： まとめノートづくりによる授業の振り返り／小テストによる理解度の確認(90分)		
8	国際法主体②(国際法における主体の多様化/国際法における国際組織・個人はどのような存在か)					
	予 習： 教科書「第3章」の読解／疑問点の洗い出し			復 習： まとめノートづくりによる授業の振り返り／小テストによる理解度の確認(90分)		
9	条約法①(条約の成立・遵守)					
	予 習： 教科書「第4章」の読解／疑問点の洗い出し			復 習： まとめノートづくりによる授業の振り返り／小テストによる理解度の確認(90分)		
10	条約法②(条約の解釈・無効・終了・運用停止)					
	予 習： 教科書「第4章」の読解／疑問点の洗い出し			復 習： まとめノートづくりによる授業の振り返り／小テストによる理解度の確認(90分)		
11	外交関係・領事関係:国同士はどのように付き合っているのか					
	予 習： 教科書「第4章」の読解／疑問点の洗い出し			復 習： まとめノートづくりによる授業の振り返り／小テストによる理解度の確認(90分)		
12	領域:陸・空・宇宙					
	予 習： 教科書「第5章」の読解／疑問点の洗い出し			復 習： まとめノートづくりによる授業の振り返り／小テストによる理解度の確認(90分)		
13	海洋法①(海域区分)					
	予 習： 教科書「第6章」の読解／疑問点の洗い出し			復 習： まとめノートづくりによる授業の振り返り／小テストによる理解度の確認(90分)		
14	海洋法②(海洋利用に関する国際法)					
	予 習： 教科書「第6章」の読解／疑問点の洗い出し			復 習： まとめノートづくりによる授業の振り返り／小テストによる理解度の確認(90分)		
15	海洋法③(日本と海洋法)					
	予 習： 教科書「第6章」の読解／疑問点の洗い出し			復 習： 試験問題の復習(90分)		
その他	授業の進捗状況により、実際の授業内容とシラバスに記載の内容が異なる場合がある。					